

「新型コロナワクチン接種に関する  
空のシリンジに装着した注射針（未使用）で  
皮膚を穿刺した事案について」

令和3年6月7日

本村・富田林市・太子町・河南町が合同で実施する新型コロナワクチン接種の集団接種会場において、6月5日本村の住民（60歳代女性）に対してワクチンの入っていない空のシリンジに装着した注射針（未使用）で皮膚を穿刺する事案が発生しましたので、ご報告いたします。

状況といたしましては、針と注射器が外れたものが1本あったため、接種を担当していた医師が、事務担当の職員に注射器の交換を指示し、持参した注射器がワクチンの充填されていないものであることを確認せずに、誤って皮膚を穿刺してしまいました。

しかし、注射器には空気も入っておらず、押子を押せない状態であったため、当該医師は空の未使用シリンジであったことに気づき、改めてワクチンの充填された注射器を用いて接種しました。

今回の事案は、医師会のマニュアルに従って実施していれば起こらなかった事案と考え、富田林医師会に対しては、出務医師へのマニュアルの徹底を図っていただくとともに、村としては、二度と同じことがないように再発防止の徹底に努めてまいります。

＜お問い合わせ＞

千早赤阪村 健康課

電話 0721-72-0069（直通）

担当：西口 美和